

●●●●●●●●●● 厚木市議会報告 ●●●●●●●●●● 市議会議員 内川ゆき子 ●●●●●●●●●●

■平成23年度決算について■

決算は「子育て支援、高齢者・障がい者福祉」等の政策に対し賛成

これまでの決算審議は、決算特別委員会で行われていましたが、23年度の決算から、各常任委員会での審議に変わりました。従って議員全員が決算の審議に参加する事となりました。この決算審議の結果は、25年度予算への反映も可能なことから、今後の取り組みへ活かしていきます。

今回の決算は、子育て支援関係や高齢者、障がい者福祉などが拡充している点から賛成としました。

厚木市は行財政改革をさらにすすめるの方針ですが、職員を減らすことばかりの行革では、マンパワーを必要とする現場は、きめ細かい対応も難しくなります。特に子育て、介護など福祉的な市民サービスを低下させないよう注視していく必要があります。また今後の課題の一つは困難をかかえる若者の相談機能や就労支援などさらに充実するべきです。

委員会への意見要望については、全ての補助金について検証、見直しを含め検討し、平等・公平に分配されるよう見解を述べました。

※平成23年度決算案審議における要望事項は10項目あり、ホームページからもご覧になります。

教育委員会 傍聴記

教育委員会への「厚木市立小中学校学校、公民館等公共施設のさらなる節電の取り組みを求める請願」の結果は

今の脱原発に向けての活動には、再生可能エネルギーへの転換と節電は必要不可欠だ。再生可能エネルギーへの転換が安易でない事を考えると、まず出来る事は節電だが、行政の動きをみていると実に歯がゆい。

あつぎ脱原発！実行委員会では、引き続き教育施設の節電を求める陳情を教育委員会に提出した。9月定例会の継続審議、10月定例会での趣旨採択となったことは、とりえず努力はしているし、これからはしていくということだが・・・

でも行政がすべきなのは言い訳ではなく、節電に向けての断行だ。しかし、リース概算費用が電気料金削減額を大きく上回っているというデータをもとに取り組みまず、またもや私たちの声は届かなかった。神奈川県が出来た事も厚木市には難しいらしい。

市民の命を守るための税金の使い方に、厚木市は、パルコ跡地を買う余裕はあっても、照明器具を交換する余裕はないのだとがっかりさせられた。身近な自治体だからこそ、市民に向けてもやる価値のある政策ではないか。こうやって言葉を濁し足踏みをしている間に、やっぱり原発が必要だという意見になっていくのではないか？（そうなっては大変だ!）

次の世代に残す負の遺産、この行為にNOと言えるのは今しかない。大勢で声に出していくしかない。
(厚木ネットメンバーより)

市民政策提案提出

市民自治でまちづくり



25年度予算編成にむけ、10月11日にさがみ生活クラブ生協厚木コモンズと共に市民政策提案を提出しました。厚木市民自治をめざす会では、生活の中から見えてくる課題を政治課題と捉え、問題解決に取り組んでいます。日本社会は2008年から人口減少社会に入り、その影響は厚木市にとっても今後大変重要な問題となってきています。超少子・高齢化社会を地域で支えていくためには、地域を活性化させ、市民が主体となってまちづくりをすすめる必要があります。厚木市は、市民活動団体やNPOなど地域で活動している力を活かせるまちづくりを積極的に進めるよう提案しました。

若者支援は身近な地域で

24年度から県西部地域若者サポートステーション（既に政令3市、湘南地区などに設置）が設置され、多くの厚木の若者も利用しています。相談者の多くは、働くことに困難を抱える若者であり、引きこもりや発達障がい、こころを病んでいる方が多く、現場では年々増加する相談件数に対応しきれない状況です。厚木市は、必要としている若者のニーズをしっかりと捉え、市内に若者サポートステーションを設置するよう提案しました。

「中間的就労」の必要性

国では、若者も含む困難を抱える方々への総合相談体制の強化、就労支援の強化、生活支援の強化が議論されています。困難を抱える人の多くは、就労に向けた支援があっても直ちに一般就労は難しいため、中長期的な生活自立支援とともに、一般就労に行く前の就労支援として「中間的就労」は重要です。厚木市は民間企業に先駆けて、市の仕事の中に若者の実習や職場体験の場を設けて先進事例とするべきです。さらに企業の開拓を進め、消費生活協同組合や福祉の事業所、NPOなどにおいて中間的就労を提供できる現場を育成し、雇用につなげるための支援が必要だと提案しました。

【インフォメーション】

わいわいトーク（議会報告会）

【日時】12月16日、1月20日、2月17日、3月17日
いずれも日曜日11時～12時

【場所】厚木ネット事務所
市政、議会の様子など身近に感じられる興味深い話。分からないことは聞いてください。だれでも気軽にご参加くださいね！

*会員募集中

★ネット会員になりませんか？
一緒に活動してもよし、会費で活動を支援下さってもいいです。
年会費1500円
振込先：三菱東京UFJ銀行厚木支店（普通）0082884
厚木市民自治をめざす会
代表 内川由喜子

編集後記

国政が大きくなっているが、私たちはいつもの通り日々の生活をつつましく営んでいる。将来を託す子どもが希望を抱き夢をもって育つ環境を残さねばならないが、原発やエネルギーの事、基地問題を棚の上に置いたままでは大人として負を感じる。

保育の聞き取りをすると、遠い子育ての当時の記憶がよみがえってくる。過ぎてしまえば何とかなったいくつもの事に、今でもお母さん方は取り組んでいるのだ。棚に置いた思いを引きよせて言葉にしていきたい。
(山)